

自然情報は「BOOK 愛ランド礼文」にあります。

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

レブンクル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP http://www.h3.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm」
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

雪が降って、鷲が来て。

今年も早い雪の到来です。礼文林道も11月13日が最後に眠りにつきました。元地や鉄府から鷲情報、上泊のアザラシ情報が届いて、すでにミツユビカモメやウミネコは浜から去りました。上泊漁港付近のウミアイサ、香深漁港のシノリガモも群で過ごす姿が見られます。



シノリガモ・99.03.04.

一年中、礼文島で見られる海ガモです。冬になると群で磯や築港の中で群で過ごします。香深漁港では多いときは百羽近くまで数えたことがあります。各港や自分の近くの浜でたくさん見られるところ、ウミアイサ、ヒメウ、ウミウなどの情報も待ってます。



礼文島で保護した鳥

・オオコノハズク1998.04.05.

最初この鳥と出会ったとき、フクロウが礼文島にいるんだなと嬉しくなりました。今年も9月30日に尺忍で保護され届けられたときは、2年前に放した鳥が帰ってきたみたいでさらに嬉しくなっていました。ひょっとしたらオオコノハズクは夏の礼文の森で繁殖しているのかも知れません。本によると竹筒を吹くような「ポーッ、ポーッ」と言う声だと書いてあります。夏の緑が丘にキャンプして鳥の声に耳を傾けてみましょう。



2000.3.6.礼文岳山頂 **冬の礼文岳登山**
12月24日(日) 9時内路集合

夏の礼文岳は1時間半で登れる山ですが冬は登りだけで3時間です。参加資格は小学5年以上。要予約

花は礼文島の財産①

宮本誠一郎

「礼文島に何を来に見にきました？」と聞くと、現在の観光客ならばその殆どが「花を見にきました」と答えるでしょう。10月に訪れる観光客でもまだ花を期待している方がいます。実際にこの時期でも桃岩歩道などを注意深く歩いて見ると、季節を間違えたレブンソウなどが咲いていることもあります。今年の夏も25万人以上の観光客が花や自然景観を求めてやってきました。

1940年8月利尻礼文島は道立自然公園に指定されました。60年前にこの島の自然の大切さを道が認めたものです。高松宮殿下や義宮殿下も御来島され1965年国定公園、1974年国立公園と昇格しました。でもほんの10年前まではまだ一般客には遠い島でした。さて、現在は東京稚内間のジェット機の就航と一日5便の稚内礼文間の大型フェリーの運行で東京からその日のうちに島に着く、都会に限りなく近い島になりました。花散策ツアーで訪れる団体客はあとをたちません。でも島に住む私たちはこの花の島で何が行われているか気づいているのでしょうか？

フェリー上から眺める香深新港にはコンクリートのテトラが出迎えて、スコトン岬へ向かうバスの車窓には工事中看板と工事車両が並んでいます。「国内で行ってみたいところNO.1」とされている地域が、こんな状態で良いのでしょうか。エゾカンゾウが黄色く染めた斜面、コザクラがピンクに染めた岩は削りとり、磯に遊べた海岸は埋め立てて道を拡幅しています。その道路は島の財産である花を削り取って作られているのです。

そして道路の拡幅は大型観光バスのすれ違いのためだけに優先されていると思います。したがって道路が広くなって便利になったように見えますが、車の往来の激しさは歩行者や自転車、リヤカーそれを活用する子供や老人の往来を否定して見えます。せっかくの工事ですから、島民や観光客が利用する観点で歩く人がもっと利用しやすい危険の無い道にしてほしいと思います。車優先の道路工事は社会的には時代遅れになってきてます。また観光客にとっての島の素晴らしさは高山植物だけではなく島の自然景観そのものなのです。エゾカンゾウやミヤマオダマキの花が覆っている魅力的な斜面、ハマベンケイソウやエゾオグルマに囲まれた渚は年々失われてゆきます。道を広く新しくすることが私たちの生活向上や観光客の誘致につながるとはかぎりません。花は島の財産です。礼文島での開発工事には花の保護を最優先に進めることを礼文町全体で考えていきましょう。



海岸の花①・イワベンケイ・1999.06.05 海馬島

サロベツの花ガイドは・サロベツ花原野の花の道・北海道新聞社発行

11月の自然日誌 今年はずいぶん早めの雪で下旬には根雪になりました。今月はユキホオジロが目につきました。11月初めから15日ころまで、スコトン岬、金田岬、林道、桃岩で多いときは20羽以上の群が見かけられました。

1日晴れ+9.8。

久種湖ユキホオジロ、カワアイサ、ミコアイサ、ヒドリガモ、ホシハジロ、スズガモ、マガモ、キンクロハジロ。船泊湾オオセグロカモメ、セグロカモメ、ニシセグロカモメ？、カモメ、ウミネコ、ミツユビカモメ、ウミアイサ、香深沖ミツユビカモメ、ウミスズメ、ウトウ

2日晴れトラフズク？死体ー内路小本

3日+9.8。4日+10.0。

5日雨のち晴れ強風+12.3～+8.2。

オジロワシ1大沢上空-鎌田

6日香深ミツユビカモメ63羽。

8日雨のち雪-0.4、利礼航路全便欠航。

9日雪西風強い。知床岩肌にツララ。

10日-3.0初めての雪かき。

上泊8日から3.4頭のアザラシ-小林。

11日晴れ+0.5～-0.9。

アザラシ上泊2、金田岬ユキホオジロ20-鎌田

12日晴れ宇遠内山道観察会

礼文林道ミヤマカケス、ユキホオジロ。

13日晴れトド数頭-上泊沖小林。

0900礼文林道ユキホオジロ。

14日久種湖道場さん牛牛舎に入れた。

今年はずいぶんユキホオジロ多いー道場。

高山アザラシ3。金田岬ユキホオジロ20。

15日晴れ利尻くつきり。

エゾサンショウウオ元地小野弘巳保護

17日-1.5。18日雪-3。19日晴れ-5

20日晴れ-2.9。オオワシ-元地大宮。

21日雨のち雪-1.9、利礼航路全便欠航。

22日雪、除雪-3.8久種湖凍ってる(17日?)

上泊アザラシ5頭。香深井ネズミ-三上。

23日晴れ、ミツユビカモメ、ウミネコ去った

24日雪-2.0～+2.0～-2.9、

25日晴れ-6.0。宇遠内積雪20センチ。

ミヤマカケス、キクイタダキ、シマエナガ、アカゲラ、ゴジュウカラ、ヒガラ。元地-4.0

27日晴れ-4.4、香深港シノリガモ多数。

28日雪-6.5、知床オオワシ1、上泊アザラシ5

29日晴れ-8.5。香深井ネズミ-三上。

30日、雪、-3.9～-5.1

利尻島の花ガイドは・利尻山の鳥花の道・北海道新聞社発行